

距離を縮めるチャット Approachat

表現駆動コース 玉田 遍 福田 桃子 森長 暉

1. Approachat (Approach+Chat)とは？

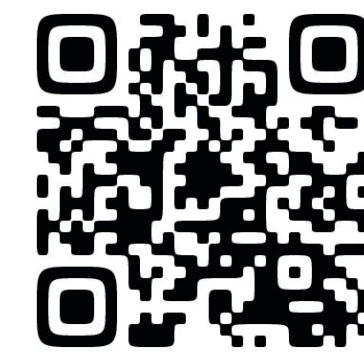
会話が苦手な人でも話しやすい大人数向けテキストチャットサービス

目的 孤立する人を減らす

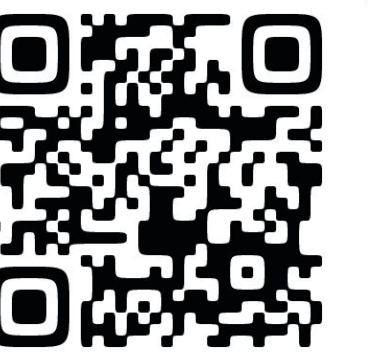
手段 会話がしやすいサービスを組織の管理者に使ってもらう

特徴 アバター同士の距離で会話相手を決める

GitHub



Approachat
サービスURL



2. 背景

社会情勢の変化により、いままで対面で行っていた活動の多くがオンライン化した。既存のツールでは対処しきれない活動も多く、下図のようにさまざまな人が悩みを抱えている。特に新入生などオンラインが主流になった後に環境が変わった人の人間関係が希薄になったことは大きな問題として取り上げられており、これを中心としてオンラインコミュニケーションでのさまざまな問題を解決したいと考えた。



入退出しづらく参加が負担
喋る機会がない



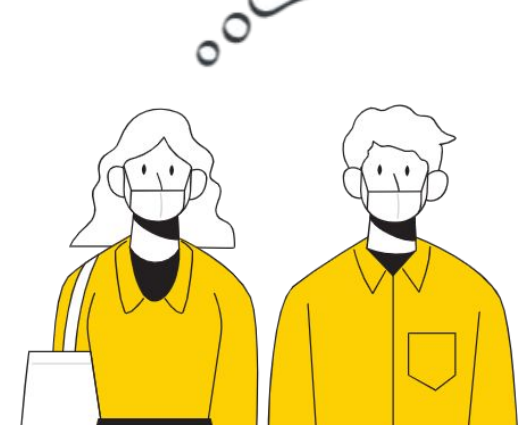
交流会参加者

質問がこない…
グループワークが難しい



教師・教授

話さないで
知り合いができない



学生

- 先行事例
- ・入室可能人数が比較的少ない(無料で使用できるのは4人まで)
 - ・動画でのコミュニケーションがメイン
 - ・音量以外では距離の概念が適用されない
 - ・パスワードが必須ではない

3. 課題とその解決方法

私たちは、オンラインの環境で孤立しやすい人は以下の3つのことを気にしていると考え、そうした人が極力話しやすくなるような機能を実装した。また、実装した機能により、教師などの組織管理者にとって便利で使いたくなるサービスにした。

会話への参加に壁がある

グループからの参加や退出がはっきり通知されてしまい、空気が悪くなる心配から合わない集団から抜けられない。大人数では発言の機会がこないことがある。



映像や声での交流が多い

雑談を友人以外とするときはボイス/ビデオチャットが多いが、映像や声が使えない状況もある。容姿や喋り方にコンプレックスがある人にとっては発言が難しい。



発言のハードルが高い

全体に向けて発言する必要があることが多く、さまざまな気遣いが必要になってしまう。特定の人と会話するためには、まず自分から行動を起こさないといけない。



距離の概念の導入によるシームレスな集団形成

孤立しがちな人にとっては……

- 近づくだけで気軽に会話を始められる
- 初めから知り合いでない人とも偶然的・自然に会話するグループができる
- 密かに会話から身を引くことができる

管理者にとっては……

- グループを事前に作らなくて良くグループワークに使いやすい

音声・ビデオなしのテキストベースのツール

孤立しがちな人にとっては……

- 声を出せない環境でも使用が可能
- 会話の流れが分からなくなるので好きに離席できる
- 会話が苦手な人でも、人と交流しやすい
- 自分の身支度や容姿を気にせずに会話できる

管理者にとっては……

- 多方向の会話を把握し管理できる
- 会話の内容や頻度を分析できる

イベントが発生する最初から小集団で話せる

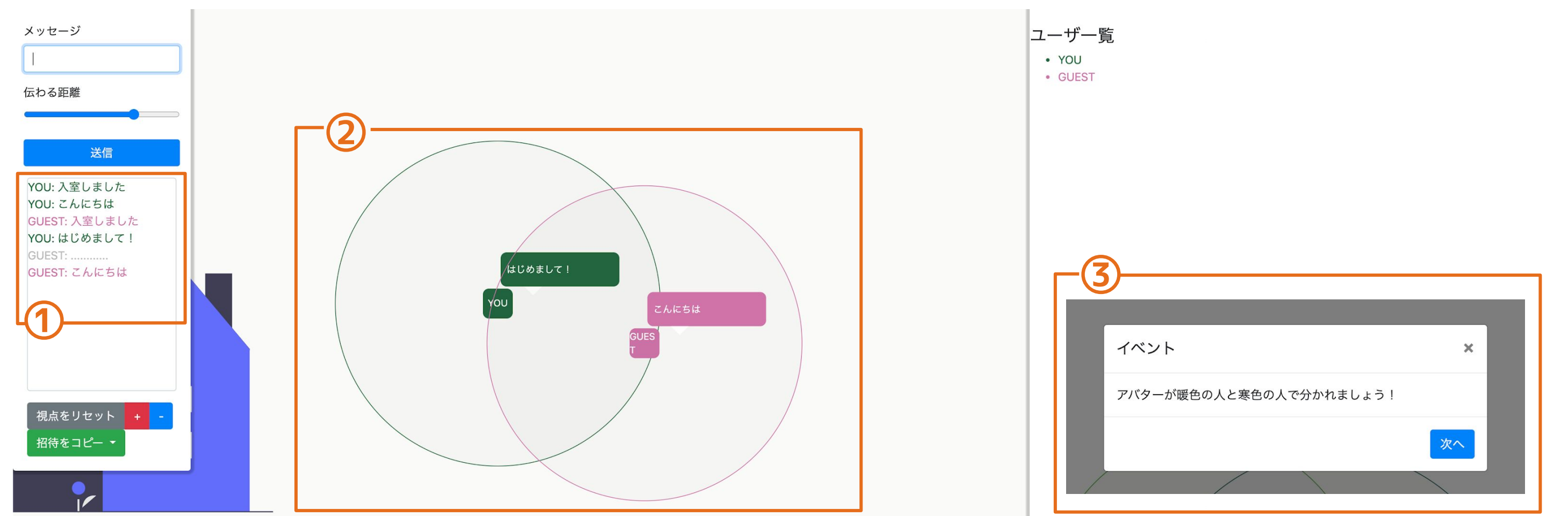
孤立しがちな人にとっては……

- 受動的にしていなくてもイベントが発生するので会話が生まれる
- トピックを作ったり連絡先を交換したりしなくても会話できる
- 孤立しているかどうかや会話しているかどうか視覚的にわかる

管理者にとっては……

- イベントの発生を制御することでその場の流れを決められる
- アイスブレイクの方法を考える手間が省ける

4. 機能



ログを見返せる - ①

授業などの際には、このログを分析に役立てることも可能。将来的には、ログをエクスポートする機能や、ブラウザ上で分析できる機能も実装したい。

距離で会話相手の変化 - ②

円で表示される、自分で決めた範囲の中に入っている人にしか自分の発言は伝わらない。柔軟にグループが形成できる。

参加者はログインせずに使用可能

チャットルームへの参加者はログイン不要とし、利便性を高めた。その代わりに、部屋を作成するホストはログイン必須とした。また、部屋からの強制退出などの権限を持てるのはログイン済者のみ。

イベントが発生 - ③

参加者に動くことを強制する「イベント」を起こすことで、受動的な人にも会話の機会ができる。ホストがイベントを発生させたり全体にアナウンスをしたりすることで、チャット全体に秩序ができる。

5. 結果

利用してもらった人：開発者の友人やその知人等(5人程度)



ユーザー

円滑にコミュニケーションをとることができた！テキストベースなので、場所を問わず電車でもできて、グループにも入りやすかった。チュートリアルやユーザーリストが欲しいと思った。

これを受けて、チュートリアルやユーザーリストを実装
ユーザーの声による改善を**随時反映**！

6. 今後の展望

機能の追加

- 部屋を残す時間を決定できる機能
- イベントの充実

ユーザー認証の強化

- 多要素認証に対応する
- ユーザーのロールによってアクセス権限を設定

認知度の向上

- SNS を用いた宣伝
- UI の改善
- 大人数での運用に対応した機能拡充

セキュリティ面の対策

- 監査用ログの保存機能
- IPアドレス制限機能



教育関係者、組織の運営者などに使ってもらえるようにしたい

Approachat が広まることで、

孤立しがちな人が**生きやすい社会**に！